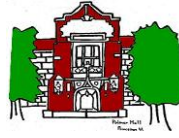


# な か か ま

## プリンス日本語学校新聞



平成24年度 No.22号

平成24年10月21日

文責 長尾重範

ブラインド 全開の林 冬支度  
エレクション 黄葉と紅茶と 熱い秋

参観日 2日目

先週の懇談の折の自習態度がどのクラスもととてもよかったので感心しました。家での躰がよいからでしょう。

### 行事予定表

10月28日 漢字検定 12:20～

11月4日 新1年生募集説明会 秋祭り

11月11日 18日 表現学習発表会

12月9日 学芸会 学習発表会

小学1年生 国語 おてがみ

おかあさん、おげんきですか。いつもおいしいごはんを、つくってくれてありがとう。さかなりょうりが、すきです。またつくってください。また、おてがみをかきます。 **ともや**より

おばあちゃん、おげんきですか。いちねんせいになって、とつてもたのしくなりました。おばあちゃんは、どう。またおてがみをかきます。 **かりん**より

おじいちゃん、おばあちゃん、おげんきですか。トミカかってくれて、ありがとう。かんじもおべんきょうしているよ。またおてがみをだします。 **しゅうや**より

とつとつじじ、おげんきですか。いちねんせいになって、なにもかわらなかつたです。またおてがみをかきます。 **かずと**より

おばあちゃん、げんきですか。もうアメリカでは、2ねんせいだよ。あたらしいせんせいは、ミスリンボッカーとミスシーだよ。アメリカのがっこうは、たのしいよ。おばあちゃんも、げんきだね。 **みゆ**より

かあちゃん、おげんきですか。りどぶるっくで、にねんせいになって、ともだちが、いっぱいできました。えいごも、ぜんぶかけるようになりました。また、おてがみをかきます。 **こうえん**より

おばあちゃん、おげんきですか。いちねんせいになって、がっこうがたのしいです。またおてがみをかきます。 **あんな**より

じじ、ばばおげんきですか。あめりかのがっこうは、たのしいよ。せんせいは、ほんとうにやさしいよ。もういっかいにほんにいくからまってね。またおてがみをかきます。 **イエイ 咲莉**より  
(つづく)

心シリーズ (1) 「心次第で」

私はずい分と気分で生きてきました。気分というのはずっと続いている意思などとは違って比較的短い時間を支配する感情で、むしゃくしゃするとか、爽快だとかいう心の状態を表現します。今日はいやなことがいくつもあって気分が悪いとか、今朝はさわやかで気分がいいとかいいます。なんだか気分が乗らないから外出しないようにしようとか、気分がいいから頑張ろうとかいったりもします。これは、自分の体調とか、親や友だちなどのやりとり、天候や世の中の様子など外的な環境にも大きく影響されます。考えてみれば、私は周りの環境や雰囲気などに左右されながら生活してきたのです。私はまるで波に漂う木切れか空気を浮遊する小さなちりのようなものに比べられそうです。否定的に考えれば、大なり小なり人間は人間社会という枠の中でしか生きられない不自由な生き物かもしれません。それは否定しようがありませんし、人間である以上それを前提に考えることは当然ともいえます。

気分で生きているということは、私にとって嬉しいことではありません。なぜなら、自分に起きるこの種の感情は瞬間瞬間に変わっていて長続きせず、充実感や達成感、深い感動に結びつかないからです。この思いは、私をこの上なくさえない気持ちにさせ、気分を落ち込ませてしまいかねません。それではどんな気持ちでいることがよいのでしょうか。気分で生きるよりも、もっと素晴らしい気持ちになれる生き方があることは確かです。そのことは自分の脳が一番よく知っていて、例えば、深く長続きがする感動は深くよく記憶されて、それをいつでも取り出すことができるほどです。

ですから私は気分で生きることがとても嫌で、それを否定したいと常々思ってきました。何もしないでぼんやりしていると「気分」が支配します。そのときはすべてが受動的になります。逆に意志を強くして生きると、自分の顔に触れる空気でさえも心地よく感じられるほどに満足な気持ちになります。波間に漂う木切れではなく波間を突き進むボートになるためには何が必要でしょうか。その答えは私の経験の上からもよくわかります。それはまずこうしようと決めることです。心は本当に不思議です。決めて生きることが人生を変えるのです。それにしても心は不思議です。決めることで180度方向転換することが可能なのですから。